

「おおきなせなかに」夢をのせ ^{あす}未来に 羽ばたく 元気なまち

Special Number

広
報

だいせん日和



2013

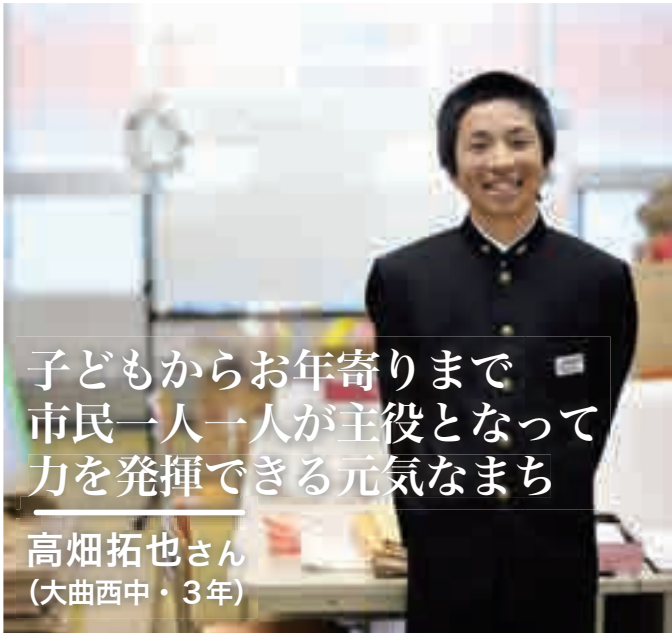
平成 25 年度
予算特別号

CONTENTS_ 目次

第1章 予算とは	4
第2章 予算歳入	6
第3章 予算歳出	8
第4章 主な事業	10

未来を見つめて

.....
予算でみる だいせんの「いま」と「これから」



子どもからお年寄りまで
市民一人一人が主役となって
力を発揮できる元気なまち

高畑拓也さん
(大曲西中・3年)



家族や地域で互いに支え合い、
みんなが幸せに生きていける、
夢と希望あふれるまち

木元鈴乃さん
(大曲中・3年)

市内の中学生に聞いた —

こんなまちに
なってほしい
大仙市



ごみ一つなく、緑豊かで
笑顔あふれる
夢と希望のまち

大森昌信さん
(大曲南中・3年)



あいさつが活発に往き交い、
市民みんなが
明るく元気に暮らせるまち

今野魁人さん
(平和中・3年)



笑顔が多い
活気あふれるまち

相馬紅葉さん
(南外中・3年)



地域特有の歴史や
文化を守り続け、
後世に語り継いでいくまち

佐藤百華さん
(中仙中・3年)



被災地の大槌中との交流で
感じたふれあうことの大切さ。
市民みんなで助け合えるまち

加賀隼人さん
(太田中・3年)



あいさつで
地域がつながる
活気あふれるまち

後藤浩哉さん
(仙北中・3年)



子どもはお年寄りを
お年寄りはお子どもを見守りながら
みんなが安全に暮らせるまち

原 良樹さん
(豊成中・3年)



あいさつの力で
みんなが元気になって
地域のつながりを
感じられるまち

進藤優里乃さん
(協和中・3年)



他地域のひとたちを歓迎し、
みんなが楽しく
交流し合えるまち

佐々木勇樹さん
(西仙北中・3年)



〔写真〕期待に胸を膨らませ新しいスタートを切った新一年生(協和小学校入学式)

第1章 予算とは

まちづくりの設計書

市民が将来に希望を持ち

安心して暮らせる地域社会の実現へ向けて

予算

予算は、市がまちづくりに必要なお金を前もって計算する1年間の収入と支出の計画であり、家計に例えると「1年間の収入がいくらで、何にどれくらい使うか」というものを示したものです。

家庭でいう給料などの収入を「歳入」、食費や生活費、教育費などの支出を「歳出」といいます。

市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分かれています。これらを取りまとめた冊子が「予算書」と呼ばれるものです。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。

一般会計予算

高齢者福祉や児童福祉、保健衛生、道路整備、ごみ処理、学校教育、消防などに使うお金をまとめたものです。市役所の基本的な仕事をする会計で、大部分がこの一般会計予算に含まれています。

特別会計予算

一般会計とは切り離して特定の事業ごとに経理する予算です。主に、保険税や使用料などの特定の収入で事業を実施します。負担と受益の関係が明確になるなどのメリットがあり、市では18の特別会計を設置しています。

企業会計予算

独立採算といった民間企業

と同様の予算です。市では、市立大曲病院事業と上水道事業の2つの企業会計を設置しています。

市役所の各部局や各課は、市民の要望や意見、アイデア等をまとめ、検討しながら昨春秋に「予算要求書」を作成しました。要求書の各事業については、大仙市にとっての優先順位や効果、財政状況など多角的に検討協議(予算査定)されて「予算案」というものになります。そして、予算案は市民の代表で構成される市議会で審議され、承認されると初めて予算が決まります。

予算とは、お金の使い道をあらかじめ決めておくことですが、それは「単なる目安」ではなく、強い拘束力を持ちます。市は、議会の承認を経て成立した予算に沿って計画どおりに事業を行わなければなりません。部局ごとに予算編成方針を作成し、事業ごとに厳しく審査する一件審査方式で編成された予算は、今年一年の「まちづくりの設計図」。その内容を紹介します。

会計別予算額

■ 一般会計	474 億	235 万 6 千円
■ 特別会計	192 億	6,670 万 3 千円
■ 企業会計	21 億	1,401 万 0 千円
計	687 億	8,306 万 9 千円

△は減額を表しています

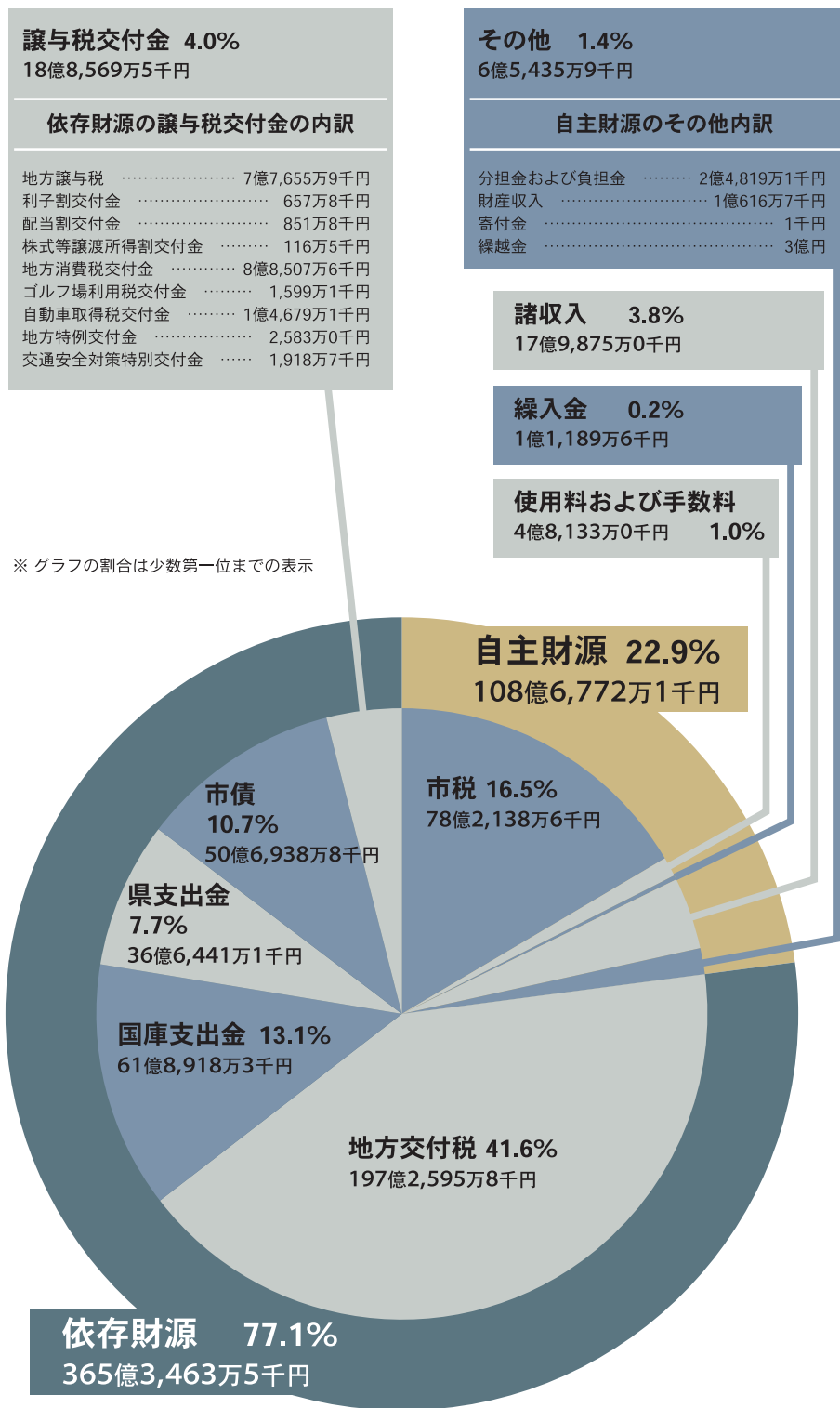
	平成 25 年度	平成 24 年度	増減額
一 般 会 計	474 億 235 万 6 千円	440 億 253 万 3 千円	33 億 9,982 万 3 千円
特 別 会 計	192 億 6,670 万 3 千円	186 億 9,275 万 0 千円	5 億 7,395 万 3 千円
国民健康保険事業特別会計	101 億 6,914 万 3 千円	100 億 3,595 万 2 千円	1 億 3,319 万 1 千円
後期高齢者医療特別会計	8 億 6,087 万 3 千円	8 億 8,769 万 3 千円	△ 2,682 万円
土地区画整理事業特別会計	22 億 8,940 万 7 千円	18 億 8,998 万 1 千円	3 億 9,942 万 6 千円
学校給食事業特別会計	9 億 2,630 万 9 千円	9 億 1,253 万 1 千円	1,377 万 8 千円
奨学資金特別会計	3,369 万 2 千円	3,657 万 2 千円	△ 288 万円
簡易水道事業特別会計	10 億 7,877 万 8 千円	10 億 7,810 万 5 千円	67 万 3 千円
公共下水道事業特別会計	17 億 3,998 万 9 千円	17 億 5,940 万円	△ 1,941 万 1 千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	7 億 6,137 万 8 千円	7 億 5,522 万 9 千円	614 万 9 千円
特定地域生活排水処理事業特別会計	2,561 万 5 千円	2,663 万 6 千円	△ 102 万 1 千円
農業集落排水事業特別会計	12 億 4,333 万 8 千円	12 億 24 万 7 千円	4,309 万 1 千円
老人デイサービス事業特別会計	4,985 万 8 千円	4,962 万 5 千円	23 万 3 千円
スキー場事業特別会計	6,971 万 7 千円	5,257 万 9 千円	1,713 万 8 千円
内小友財産区特別会計	43 万円	93 万円	△ 50 万円
大川西根財産区特別会計	831 万 6 千円	91 万 6 千円	740 万円
荒川財産区特別会計	185 万円	167 万円	18 万円
峰吉川財産区特別会計	297 万円	131 万 1 千円	165 万 9 千円
船岡財産区特別会計	162 万円	156 万 5 千円	5 万 5 千円
淀川財産区特別会計	342 万円	180 万 8 千円	161 万 2 千円
企 業 会 計	21 億 1,401 万円	23 億 7,405 万 6 千円	△ 2 億 6,004 万 6 千円
市立大曲病院事業会計	11 億 868 万 5 千円	11 億 360 万円	508 万 5 千円
上水道事業会計	10 億 532 万 5 千円	12 億 7,045 万 6 千円	△ 2 億 6,513 万 1 千円
予 算 合 計	687 億 8,306 万 9 千円	650 億 6,933 万 9 千円	37 億 1,373 万円

第2章 予算歳入

一般会計歳入

市街地再開発事業の本格化で

過去最大の予算額



<<< 財政用語

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といいます。

▼自主財源：市が自主的に収入することができ、財源のことで、市税、使用料および手数料、諸収入などがあります。

▼市税：住民のみなさんに納めていただく税金です。

▼依存財源：地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金と市の借入金である市債です。

▼繰入金：積立金（基金）の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

▼分担金・負担金：幼稚園や保育所の保育料、受益者負担金など利用者の負担分として納めていただくお金です。

▼地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、普通交付税と特別交付税があります。地方交付税は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として集められた財源のうち一定割合の額を、地方公共団体に再配分するものです。

【コラム1】

市町村合併の優遇措置
「合併算定替」がまもなく終了

特例期間終了に 向けた取り組み

— COLUMN —

平成17年に市町村合併を行い、誕生から9年目を迎えた大仙市。合併自治体が受けられる優遇措置の一つに普通交付税の「合併算定替」があります。市町村合併が行われた場合、スケールメリットによりさまざまな経費の節約が可能になるので、国から交付される普通交付税の額は減少することとなりますが、合併後10年間は旧市町村が存在するものとみなして計算した交付税の合算額が受けられる優遇措置です。

この普通交付税の「合併算定替」については、優遇される期間が26年度で終了し、27年度からは5年間にわたり段階的に減額され、32年度からは現在より毎年50億円ほど少ない本来の基準で算定された交付額となることから、市の財政規模も普通交付税の交付額に応じ縮小していく必要があります。

このような「合併算定替」の減額・廃止を迎えるにあたり、市のさまざまな問題解決に取り組む組織として、4月1日から総務部財政課へ「経営改革班」を新設しました。将来の財政見通しを踏まえながら、公共施設や市単独補助金の検証・見直しなどを行い、市の行財政改革に取り組むための具体的な方策や実施期間などを示す経営改革計画を策定し、持続可能な財政運営に努めていきます。

一般会計歳入合計

474億 235万 6千円

（自主財源／ 108 億 6,772 万 1 千円	22.9%
（依存財源／ 365 億 3,463 万 5 千円	77.1%

市税収入は微増

自主財源の柱である市民税や固定資産税、軽自動車税などの市税収入は、78億2100万円と前年度を7200万円上回ります（前年度比0.9%増）。給与所得の伸び悩みで個人市民税が減る一方で、新築住宅などの増加で固定資産税は増え、また、法改正でたばこ税が増額

平

成25年度の一般会計当初予算は、474億235万6千円です。24年度と比較すると、およそ34億円の増額（前年度比7.7%増）。平成17年の市町村合併以後では、最大規模となりました。要因としては、仙北組合総合病院の移転改築を柱とする市街地再開発事業が本格化することが挙げられます。

となる見込みです。一般財源全体のおよそ6割を占める地方交付税は、197億2500万円です。前年度と比較すると、前年度をおよそ4億1700万円下回ります（前年度比2.1%減）。



〔写真〕改築中の仙北組合総合病院は26年開院予定

だいせん夢未来債の発行

市街地再開発事業として実施している26年春開院予定の「仙北組合総合病院」の改築支援の財源として、住民参加型公募債（だいせん夢未来債）の2回目の発行を計画しています。

「だいせん夢未来債」は、18年に学校給食センター建設事業の資金の一部に活用するため、3億円を発行しましたが、第2回目の発行となる今回は、発行総額5億円。今秋の発行を予定しており、「市民と協働のまちづくり」を進めるために、多くの市民の皆さんに購入していただきたいと考えています。

▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。

▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使い道が特定されます。

▼市債：市の借入金（借金）で返済が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源に充てられます。

▼地方譲与税：国税の一部が譲与されるお金です。市道延長・面積などに基つき譲与される地方揮発油譲与税と、自動車重量譲与税があります。

第3章 予算歳出

▼経済・雇用・生活

国の基金を活用して実施してきた事業のうち、家庭相談員や保育アドバイザー、学校支援員などは市の施策上必要不可欠であることから、「地域雇用基金」を財源に人的確保を図ります。

また、市内消費活動の奨励のため、大曲商工会議所と大仙市商工会が発行する総額5億5千万円の「プレミアム付き共通チケット」を支援。要望が多かった住宅リフォームの補助制度も継続します。

▼子育て・教育

仙北地域の放課後児童クラブの改築をはじめ、旧太田診療所に病児・病後児保育施設を、西仙北中央公民館に地域子育て支援センターを新設します。

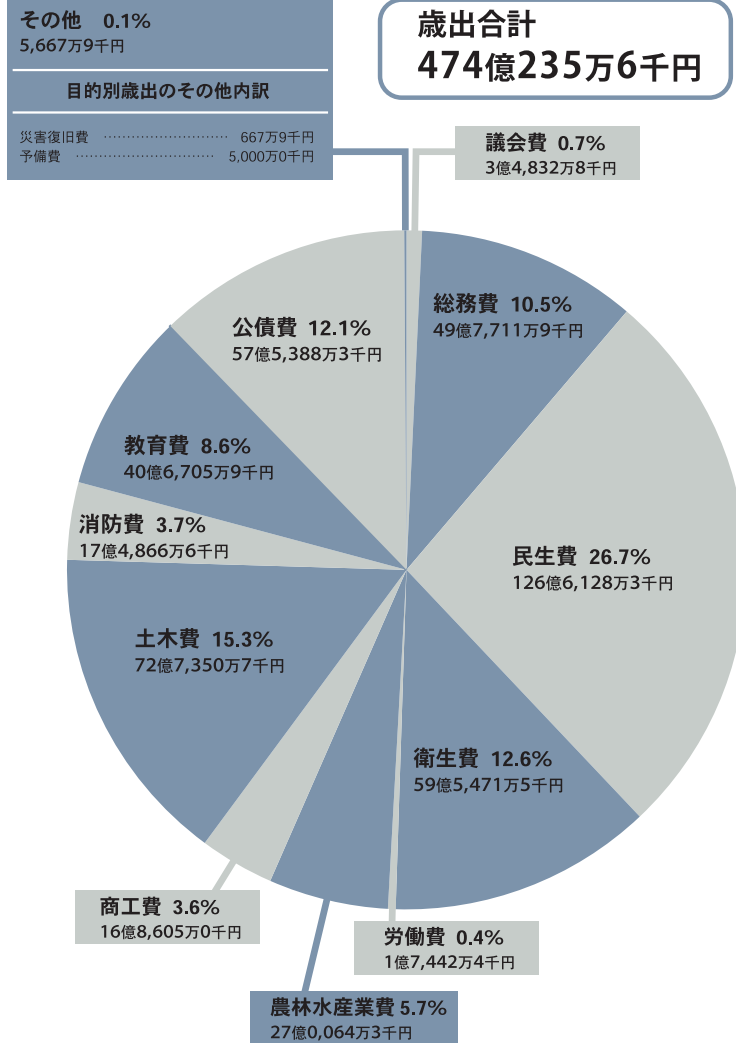
「子どもの医療費助成」は、県

歳出予算を目的別に分類しました

※ グラフの割合は少数第一位までの表示

目的別

歳出合計
474億235万6千円



一般会計歳出

市民ニーズや地域情勢を的確に捉えた

きめ細かな施策の推進

<<< 財政用語

【目的別歳出】

歳出予算を目的別に分類することで、行政サービスの水準や特色などを知ることができます。

▼議会費：議会運営の経費
▼総務費：行政全般の事務などに係る経費

▼民生費：障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費
▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費

▼労働費：出稼ぎ支援や雇用対策などの経費
▼農林水産業費：農林漁業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

▼商工費：商工業や観光の振興のための経費
▼土木費：道路や川、公園など社会資本整備のための経費

▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費
▼公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子や一時借入金（利子）を支払うための経費

▼災害復旧費：災害で被災した施設などを復旧するための経費
▼予備費：予期しなかった支出に対応するための経費

▼議会費：議会運営の経費
▼総務費：行政全般の事務などに係る経費

▼民生費：障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費
▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費

▼労働費：出稼ぎ支援や雇用対策などの経費
▼農林水産業費：農林漁業振興のための支援や生産基盤整備などの経費

▼商工費：商工業や観光の振興のための経費
▼土木費：道路や川、公園など社会資本整備のための経費

の制度の拡大実施と市単独事業の中学生の入院医療費無料化制度を継続。「未熟児養育医療助成」を新たに実施し、子育て世代の負担を軽減します。

▼地域医療

仙北組合総合病院の移転に合わせ、ねむのき駐車場と新病院との連絡通路を整備します。

▼農業振興

農業所得の増加や設備投資に係る負担軽減を図るほか、六次産業化施設の整備などの支援を着実に実施します。また、復元有効度が特に高いと見込まれる遊休農地を再生・活用する予算を盛り込んだほか、西部新規就農者研修施設を新設し、農業の担い手の育成と確保を目指します。

▼防災対策

「空き家等の適正管理に関する条例」の制定で空き家の自主的な解体や、補助金活用による解体・撤去が増加し、着実な成果が見られることから関連事業を継続実施。また、24年の自然災害を教訓に、水害対策に係る予算を増額したほか、自主防災組織の育成にも力を注ぎます。

【コラム2】

公債費負担適正化計画 による将来負担の軽減

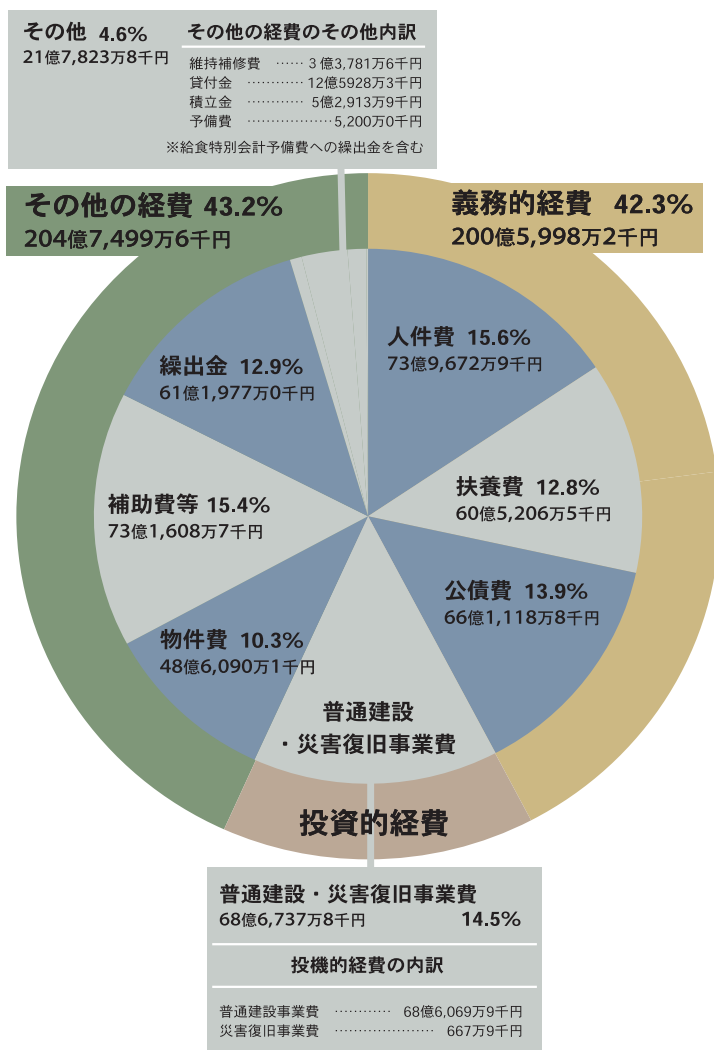
— COLUMN —

地方公共団体では公共施設の建設など、単年度に多額の財源を要する事業について、地方債の発行により必要な資金を調達しています。これは、事業の円滑な執行を確保するとともに、財政負担の年度間調整と、現世代の市民と将来便益を受けることとなる後世代の市民との世代間負担の公平性を調整する役割も果たしています。大仙市では、合併協議による各種建設事業等の実施に伴い市債発行額が増大したことから、ピーク時の19年度末には建設事業に係る市債残高が約993億円までに膨れあがっていました。これにより市債の償還額も年々増加し、その割合が国の定める基準値を超えたことから、公債費負担適正化計画を策定し、市債発行額の抑制に努めています。この結果、24年度末の残高は約859億円までに縮減され、この後も年々減少となる見込みです。

性質別

歳出予算を性質別に分類しました

※ グラフの割合は少数第一位までの表示



【性質別歳出】

支出が義務づけられている義務的経費（人件費、扶助費、公債費）、道路や公共施設の建設といった行政水準の向上にかかる投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）、その他の経費に区分できます。

▼人件費：議員報酬、職員給与など

▼扶助費：社会保障制度にかかる経費

▼公債費：市の借金などを償還するための経費

▼普通建設事業費：道路や公共施設の整備に必要な経費

▼災害復旧事業費：災害で被災した施設などの復旧経費

▼物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費

▼補助費等：団体などに対して行政上の目的で支払う経費

▼緑出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費

▼維持補修費：道路や公共施設などを管理するための経費

▼貸付金：市が直接または間接的に現金の貸付を行う経費

▼積立金：計画的な財政運営や将来負担に備えて基金等に積み立てる経費

3 活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり (産業分野)

基盤整備促進事業費	97 万円
新規就農者研修施設運営費	4,082 万 1 千円
6 次産業化施設整備事業費	7,625 万 5 千円
地域農産物販売消費活動事業費	109 万円
遊休農地活用支援事業費	250 万円
鮭資源等確保活用事業費	2,452 万 1 千円
青年就農給付金事業費	4,360 万円

4 生活の基盤が整ったまちづくり (都市基盤分野)

デスティネーションキャンペーン推進事業費	765 万 8 千円
プレミアム付き共通チケット発行事業費	4,704 万円
大仙市観光物産協会負担金	1,868 万 4 千円
特産品流通化事業費	221 万 9 千円
大仙市観光 PR 映像制作事業費 (ふるさと応援基金分)	100 万円
求職者・在職者スキルアップ事業費	196 万 5 千円
市街地再開発事業費	51 億 9,180 万 8 千円 (うち 24 年度繰越分 21 億 7,369 万円)
地域中核病院移転改築事業費補助金	7 億 7,384 万 9 千円
中核病院連絡通路等整備事業費	9,150 万 6 千円
総合交通体系調査費	811 万 2 千円
地域住宅整備事業費	372 万 9 千円
水害対策費	3,092 万 7 千円
道路改良事業費	2 億 8,387 万 6 千円
大曲駅前第二地区土地区画整理事業費	14 億 1,846 万 4 千円
中通線街路整備事業費	2 億 5,941 万円
農業集落排水事業費 (機能保全構想策定事業)	1,990 万 7 千円
淀川地区簡易水道水源調査事業費	928 万 1 千円
大沢郷地区簡易水道区域拡張事業費	189 万円

第4章 主な事業

主 な 事 業 説 明

7つの計画体系ごとに
今年度の主な事業をご紹介します

1 安心して健やかに暮らせるまちづくり (福祉分野)

敬老の日事業費	3,811 万 6 千円
子ども・若者育成支援事業費	973 万 1 千円
障がい者通所施設等交通費助成金支給事業費	129 万 2 千円
地域児童健全育成推進事業費	1 億 5,526 万円
病児・病後児保育事業費	2,195 万 9 千円
地域子育て支援拠点事業費	1,272 万 2 千円
乳幼児健康診査費	1,371 万 1 千円
未熟児養育医療費	924 万 4 千円
保健事業費	1 億 4,745 万 7 千円
介護予防事業費	2,957 万円
高齢者生活支援サービス事業	5,159 万円
子どもの福祉医療費	2 億 615 万 5 千円

5 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり (環境・安全分野)

環境学習推進費	103 万 5 千円
公共施設再生可能エネルギー等導入事業費	2 億 2,469 万 5 千円
廃棄物減量化対策費	4,153 万 2 千円
荻谷沢コミュニティガーデン整備事業費	680 万 4 千円
空き家等対策費	850 万 2 千円
住宅用火災警報器設置助成事業費	1,029 万 9 千円
災害に強いまちづくり事業費	922 万 9 千円
住宅リフォーム支援事業費	6,009 万円

7 計画の推進にあたって (地域情報・交流分野)

自治基本条例策定関連経費	36 万 2 千円
町内集落会館整備事業費	1,315 万円
自治会育成支援事業費補助金	2,301 万円
小規模・高齢化集落コミュニティ対策事業費	235 万 6 千円
荒川鉱山跡地保存活用事業費	27 万 1 千円
公債事務費	303 万 6 千円

2 未来を創り心豊かな人を育むまちづくり (教育分野)

東大曲小学校周辺環境整備事業費	1,951 万 9 千円
音のまち大仙楽器サポート事業費	1,370 万円
だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費	50 万円
キャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費	340 万 1 千円
学校生活支援事業費	9,112 万 6 千円
国民文化祭関連事業費	111 万 3 千円
生涯学習施設管理費（音楽交流館）	225 万 6 千円
旧池田氏庭園整備事業費	1 億 912 万円
埋蔵文化財公開活用事業費	300 万円
総合市民会館運営費	4,012 万 9 千円
全県 500 歳・550 歳野球大会関係費	250 万円
スポーツ振興事業費（チャレンジデー分拡充）	739 万 4 千円
子ども読書活動推進事業	588 万円

6 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり (地域情報・交流分野)

コミュニティ FM 開局準備経費	40 万 3 千円
がんばる集落活性化支援事業費	1,002 万 2 千円
地域振興事業費（地域枠）	5,500 万円
大仙市 PR イベント開催事業費	838 万円
ふるさと納税文庫等整備事業費 （ふるさと応援基金分）	500 万円
国際教養大学交流事業費	67 万円

- 1 保健・医療の充実
- 2 子育て支援の充実
- 3 社会福祉の充実
- 4 高齢者福祉の充実
- 5 社会保障の充実

安心して 健やかに暮らせる まちづくり

拡 充

病児・病後児保育事業費

担当課／児童家庭課

2,195万9千円

(市45%、国県46%、その他9%)

病気の回復期または病氣中で保育所や小学校への登園・登校ができない幼児・児童を医療機関（付施設）で一時的に預かることで保護者の負担を軽減させるとともに育児と就労の両立を手助けします。

【事業概要】

○実施場所／

吉村クリニック（大曲）

生和堂医院（西仙北）

太田診療所（太田）

※太田診療所は25年8月開設予定

○実施時間／午前8時～午後6時

障がい者通所施設等交通費助成金支給事業費

担当課／生活支援課

129万2千円

(市100%)

障がいのある方や介護者の方が、障がい福祉サービス事業所（生活支援、自立訓練、就労移行支援）に通所し、開所日数の2分の1以上利用した場合、通所に係る交通費の一部として、月額5千円を上限に支給します。

高齢者生活支援サービス事業費

担当課／高齢者あんしん相談室
(地域包括支援センター)

5,159万円

(市85%、その他15%)

介護予防支援、生活支援、家族介護支援などのサービスを提供し、高齢者やその家族の生活を総合的に支援します。

拡 充

地域子育て支援拠点事業費

(ひろば型)

担当課／児童家庭課

1,272万2千円

(市54%、国県46%)

子育て家庭の保護者とその子どもが、気軽に交流したり相談したりする場を提供し、安心して子育てできる環境をつくり、地域の子育て支援機能の充実を図ります。

【施設概要】

○まるこのひろば（大曲）

場所／大花都市再生住宅1階

時間／午前9時～午後5時

※週6日（水曜日除く）

○うさちゃんひろば（中仙）

場所／中仙市民会館（ドンパル）

時間／午前10時～午後4時

※毎週木・金・土曜日（週3日）

○新設ひろば（西仙北）

(25年6月開設予定、名称未定)

場所／西仙北中央公民館

時間／午前10時～午後4時

※毎週木・金・土曜日（週3日）



うさちゃんひろば

敬老の日事業費

担当課／社会福祉課

3,811万6千円

(市100%)

高齢者の長寿を祝い、長年地域社会に貢献してきた高齢者に敬意と感謝の意を表します。

【事業概要】

○敬老会の開催

○長寿祝い金の贈呈

新 規

子ども・若者育成支援事業費

担当課／社会福祉課

973万1千円

(市51%、その他49%)

不登校・ひきこもり等の問題を抱える家庭の総合的相談窓口となる「大仙市子ども・若者総合相談センター」を旧中通児童館に開設しました。

教育・福祉・雇用分野などの関連機関が連携し、ワンストップで相談などを受け付け、学校復帰や社会復帰などの支援を効果的に進めます。

乳幼児健康診査費

担当課／健康増進センター

1,371万1千円

(市100%)

乳幼児の健康診査受診率の向上と疾病の早期発見・早期治療を促進するとともに、子育てを支援します。

【事業概要】

○市乳幼児発達支援連絡会の設置

○3歳児健康診査への臨床心理士の配置

拡 充

地域児童健全育成推進事業費

担当課／児童家庭課

1億5,526万円

(市34%、国県39%、その他27%)

放課後児童クラブは保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対して放課後の時間を有効活用できる場を提供する事業で、現在市内20カ所で実施しています。

25年度は、仙北地域の放課後児童クラブ「ひまわり児童クラブ」を改築します。



【写真】①子どもたちが生命の尊さを学んだ「いのちの教室」②高齢者の皆さんの長寿をお祝いする「敬老会」③21年の開所以来多くの親子に利用されている「まるこのひろば」。今年登録者数が1,000人に達した④介護予防講演会では老化防止と食生活の関係性をテーマに人間総合科学大学の熊谷修教授が講演⑤家庭問題の総合的な相談窓口として期待される「大仙市子ども・若者総合相談センター」

新規

未熟児養育医療費

担当課／健康増進センター

924万4千円

(市23%、国県67%、その他10%)

医師が入院養育を必要と認めた未熟児（満1歳未満）に対し、高額となる医療費の自己負担分の一部を公費負担します。指定医療機関での速やかで適切な処置を促すことで未熟児の健康を守るとともに

世帯の経済的負担の軽減を図ります。



子どもの福祉医療費

担当課／国保年金課

2億615万5千円

(市60%、国県40%)

乳幼児・就学期の子どもにかかる医療費は、生活基盤の弱い世帯には負担感が強く、少子化の一因となっています。

県の制度の医療費助成対象者は0歳から小学生までですが、市では中学生の入院時の医療費も助成対象とし、さらに所得制限額も県の基準を緩和して実施します。

また、県の制度に市が上乗せ助成を行うことにより、医療費の自己負担分を全額助成します。

一覧の見方

【事業名】

【担当課】※予算計上の課所を掲載

【予算額】

【財源の内訳】

※市100%と表示している事業は市単独による事業

※「その他」とは使用料や受益者負担分などが含まれます

【事業内容】

以上の順に記載しています

介護予防事業費

担当課／高齢者あんしん相談室
(地域包括支援センター)

2,957万円

(その他100%)

介護予防に関する運動教室や健康教室などの各種事業を行います。

【事業概要】

○介護予防講演会（7月開催予定）

○まめまめ教室（ストレッチや有酸素運動など、運動器や口腔機能向上のためのプログラムを提供）

○さわやか教室（運動習慣の必要性など、介護予防に対する意識向上を目指した教室を開催）

○ロコモ予防教室（個人プログラムによる運動器の改善を目指した教室を開催）

保健事業費

担当課／健康増進センター

1億4,745万7千円

(市82%、国県8%、その他10%)

各種検診を実施し、早期発見・早期治療で健康増進を図ります。

【検診事業】

胃がん、前立腺がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん、30・35歳の血液健診、肝炎ウイルス、骨粗しょう症、歯周疾患

【がん検診無料クーポン券事業】

4月1日現在で次の年齢の方に無料クーポン券を送付します。

○子宮頸がん検診／20、25、30、35、40歳の女性

○乳がん検診／40、45、50、55、60歳の女性

○胃がん検診／40、50歳

○大腸がん検診／40、45、50、55、60歳

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の推進
- 3 芸術、文化の振興
- 4 スポーツ、レクリエーションの推進
- 5 世界平和の希求

あす 未来を創り 心豊かな人を育む まちづくり

学校生活支援事業費

担当課／教育指導課

9,112万6千円

(市 70%、国県 8%、その他 22%)

さまざまな課題をもつ小・中学校の児童生徒をサポートする支援員を配置し、個々の実情に合ったきめ細かな指導を行うことで教育環境の充実を図ります。

【事業概要】

25年度は、市内小・中学校に55人の支援員を配置

- 学校支援員（小・中学校）／54人
- 日本語指導支援員（中学校）／1人

新規

キャリア教育推進 「総合的な学力育成」事業費

担当課／教育指導課

340万1千円

(市 64%、その他 36%)

キャリア教育やふるさと教育など、総合的な学力を育成するためのさまざまな事業をひとまとめにし、事業の効率化とより柔軟な事業実施を図ります。

【事業概要】

- 教育アドバイザー設置事業／教育アドバイザー1名を配置し、児童生徒の心の支援や保護者の教育支援、教職員の指導支援を実施します。
- ふるさと体験学習推進事業／市内農家への宿泊体験学習を実施します。
- 環境教育／大曲南中、大曲西中、角間川小、藤木小、内小友小、大川西根小の6校が連携し、環境に関する体験学習や講演会などを実施します。

東大曲小学校周辺環境整備 事業費

担当課／教育総務課

1,951万9千円

(市 100%)

東大曲小学校の周辺環境を整備する事業です。校舎に隣接する山林の影響で日当たりや風通しが悪いことや、敷地内を通る水路には雨水排水が溜まることなどの衛生上の問題を解消します。

24年度は事業実施区域の用地買収や立ち木の伐採などを実施。25年度は駐車場などを整備します。

新規

国民文化祭関連事業費

担当課／生涯学習課

111万3千円

(市 68%、国県 32%)

26年10月に第29回国民文化祭が秋田県を会場に開催されます。国民文化祭は、全国各地で国民一般が行っている各種の文化活動を全国的規模で発表し、競演し、交流する場を提供することにより、国民の文化活動への参加の機運を高め、新しい芸術文化の創造を促すことを狙いとした祭典です。市としても積極的に参加し、地域を全国に発信します。

25年度は事業の詳細や広報活動の方法、受け入れ体制についての協議や、個別事業の具体的な企画や検討を進めます。

【開催事業（予定）】

- 国指定名勝旧池田氏庭園 秋の園遊会
- 囲碁サミット 2014 in 大仙
- 秋田の美×写真の力

新規

だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費 50万円

担当課／教育指導課

(市 100%)

大規模災害などが発生した際に避難所となる学校と、地域の自主防災組織などが連携し、災害時の避難所運営について実践的な訓練を実施。防災教育の充実と、家庭や地域の防災意識の向上を図ります。



[写真] 南外地域の中学生が参加した避難所開設・運営訓練(24年度大仙市総合防災訓練)



初開催から35回を数え、節目の年を迎える「全県500歳野球大会」



成沢遺跡で内容確認調査を実施した際に出土した縄文時代後期の土器



市民や地域の音楽団体の活動の場として利活用される旧北神小学校校舎

全県 500 歳・550 歳野球大会 関係費

担当課／スポーツ振興課

250 万円

(市 100%)

「一生スポーツ、一生健康」のキャッチフレーズのもと、500歳野球大会と550歳野球大会を開催します。野球をこよなく愛する熟年世代の心身の健康増進と地域の活性化を図ります。

25年度は500歳野球大会が35回目の節目を迎えることから記念大会として開催する予定です。

拡 充

スポーツ振興事業費

(チャレンジデー分拡充)

担当課／スポーツ振興課

739 万 4 千円

(市 100%)

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」。これまで太田地域が参加していましたが、25年度からは市全体の取り組みとして参加することとし、市民が主体的にスポーツのできる環境を整えます。

【チャレンジデーとは】

毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率」を競い合います。

自宅、学校、職場、広場など、場所を問わず個人でもグループ(団体)でも体を動かした人は、その内容を報告することによってチャレンジデーに参加したことになります。

総合市民会館運営費

担当課／生涯学習課総合市民会館

4,012 万 9 千円

(市 56%、その他 44%)

市民に優れた芸術や文化を身近で鑑賞できる機会を提供します。

【25 年度の主な自主事業公演】

大曲市民会館／スロヴァキアフィルハーモニー合唱団 (10 月)

中仙市民会館 (ドンパル) / ドンパル開館 10 周年記念事業 東誠三 & 仙台フィルハーモニーオーケストラクラシックコンサート (2 月)

協和市民センター (和ピア) / 落語 林家木久扇 & 林家木久蔵親子会 (11 月)

仙北ふれあい文化センター / 民俗芸能フェスティバル (9 月)

子ども読書活動推進事業費

担当課／生涯学習課総合図書館

588 万円

(市 100%)

子どもたちが自主的に読書に親しむ習慣を身に付けられるような環境づくりを進めるため、家庭や地域、保育所・幼稚園・学校、図書館での読書活動を推進します。

【事業概要】

○ブックスタート事業 / 4 カ月健診の際にブックスタートパック (絵本 2 冊、子育て情報誌、図書館案内、図書館利用カード申請書、読み聞かせ会の日程表など) を贈呈

○公立図書館と学校図書館の連携 / 子ども読書支援サポーターの配置による支援体制の強化



新 規

生涯学習施設管理費

【音楽交流館】

担当課／生涯学習課

225 万 6 千円

(市 100%)

23 年度に閉校した旧北神小学校校舎を活用し、市民や地域音楽団体に音楽や様々な文化活動などを通じて交流できる場を提供します。

拡 充

旧池田氏庭園整備事業費

担当課／文化財保護課

1 億 912 万円

(市 50%、その他 50%)

国指定名勝「旧池田氏庭園」の学術・鑑賞的価値の保存伝承を図るため、庭園保存整備管理計画に基づき、45 年度までの 30 年間計画で国庫補助事業を活用した整備を進めています。25 年度は本家正門前駐車場敷地内にトイレやガイドンスルームなどを備えた案内施設を新たに設置し文化的観光資源としての魅力向上を図ります。

新 規

埋蔵文化財公開活用事業費

担当課／文化財保護課

300 万円

(市 33%、その他 67%)

24 年度の発掘調査で出土した成沢遺跡の遺物を中心に市内の埋蔵文化財の概要を学ぶことができる大仙市埋蔵文化財展示室 (仮称) を出土地に近い大川西根公民館内に開設します。

【事業概要】

開設時期 / 25 年 7 月下旬 (予定)

内容 / 成沢Ⅱ遺跡など市内の遺跡で発掘された出土品の展示、発掘土器の接合体験コーナーの設置など

- 1 農林水産業の振興
- 2 商業の振興
- 3 工業の振興
- 4 観光の振興
- 5 雇用の安定、就労の促進

いきいきと 希望を持って活躍できる まちづくり

拡 充

新規就農者研修施設運営費

担当課／農林振興課

4,082 万 1 千円

(市 83%、国県 11%、その他 6%)

農業の担い手の育成と確保を目的に、若手の就農希望者の研修施設として東部新規就農者研修施設(太田)に加え、25 年 4 月に西部にも新規就農者研修施設を開設しました。

【施設概要】

東部／敷地面積 180a、鉄骨ハウス 2 棟、パイプハウス 8 棟

西部／敷地面積 60a、パイプハウス 3 棟

新 規

遊休農地活用支援事業費

担当課／農林振興課

250 万円

(市 100%)

遊休農地活用センターの調査結果に基づき、今後 5 年間で復元が有効とされる遊休農地 50 ヘクタールの再生と活用を目指し、費用の一部を助成します。

拡 充

鮭資源等確保活用事業費

担当課／農林振興課

2,452 万 1 千円

(市 61%、国県 20%、その他 19%)

大曲地域で伝承されてきた雄物川や玉川での鮭との関わりあいを通じて、鮭資源や河川環境の保護を図ります。

【25 年度新規事業】

- 市営ふ化場給水設備工事
- ふ化場 55 周年記念副読本「花館のサケの歴史」の配布
- ※市内小学校など

新 規

6 次産業化施設整備事業費

担当課／農林振興課

7,625 万 5 千円

(市 12%、国県 88%)

農業法人等の経営安定と雇用の場の創出による地域の活性化のため、「農事組合法人たねっこ」が旧西仙北西中学校校舎の一部を借り受け、「野菜一次冷凍加工施設」に改修する事業を支援します。

新 規

地域農産物販売消費活動事業費

担当課／農林振興課

109 万円

(市 100%)

地域農産物の消費拡大と特産品や加工品の販売・ピーアールに対する支援を行います。

【事業概要】

- 地域農産物を首都圏で販売・ピーアールしようとする団体への補助
- 直売所の経営と運営方法に関する講習会の開催
- 伝統料理講習会への講師派遣
- 学校給食地場農産物供給推進会議の開催

基盤整備促進事業費(補助分)

担当課／農林振興課

97 万円

(市 10%、国県 66%、その他 24%)

水田の排水強化のため、土地改良区などが実施するモミガラ補助暗渠工事にかかる経費の一部を補助します。

新 規

青年就農給付金事業費

担当課／農林振興課

4,360 万円

(国県 100%)

農業経営開始から間もない新規就農者に対し給付金を交付し、農業への意欲を高め、就農後の定着を図ります。

【事業概要】

給付対象者／人・農地プランに中心となる経営体として位置づけられていて、就農時に年齢が原則 45 歳未満の独立・自営の農業従事者

給付期間／経営開始後 5 年以内

給付額／一人当たり年間 150 万円
(夫婦は要件を満たした場合年間 225 万円)



[写真]玉川に隣接する地域の小学校が参加して行われているサケの放流

生活の 基盤が整った まちづくり

新規

市街地再開発事業費

担当課／重点政策推進室

51 億 9,180 万 8 千円

(うち 24 年度からの繰越予算
21 億 7,369 万円)

(市 33%、その他 67%)

仙北組合総合病院の建て替えを核として、医療・福祉・健康・交通などの各施設を集約整備し、自動車に過度に依存せずに、将来にわたって安全・安心に暮らせる住み



やすいまちづくりを目指す
大曲通町地区
市街地再開発
組合の実施する
事業に対し、補助金を交付します。

新規

地域中核病院移転改築事業費 補助金

担当課／重点政策推進室

7 億 7,384 万 9 千円

(市 100%)

厚生連の仙北組合総合病院の老朽化の解消と医療機能の強化、療養環境の充実を図るために現在実施している移転改築事業を支援します。

中核病院連絡通路等整備事業費

担当課／重点政策推進室

9,150 万 6 千円

(市 68%、国県 32%)

仙北組合総合病院の移転改築により、ねむのき駐車場が病院利用者の重要な駐車スペースとなることから、新病院とねむのき駐車場を結ぶ連絡通路を設置するとともに駐車場を改修します。

これにより、安全性と利便性の向上を図ります。



地域の雇用促進を目的に実施している
仙北地域雇用促進就職面接会

新規

デスティネーション キャンペーン推進事業費

担当課／商工観光課

765 万 8 千円

(市 100%)

10 月 1 日から 12 月 31 日まで自治体や観光事業所が JR グループと連携して開催する「秋田デスティネーションキャンペーン」に合わせた誘客宣伝活動を実施します。

市の認知度を高めることで観光誘客の拡大につなげ、市内経済の活性化を図ります。

【事業概要】

- オープニングイベント
- 観光誘客パンフレット作成 など

大仙市観光 PR 映像製作事業費 (ふるさと応援基金分)

担当課／商工観光課

100 万円

(その他 100%)

大仙市観光ピーアールアイデアコンテストを実施。広く公募することで市民参加のもと、市の魅力を再確認するとともに観光資源を発掘します。コンテストによって選ばれた市の魅力となる素材を活用し、26 年度には映像製作を実施します。

拡充

求職者・在職者スキルアップ 事業費

担当課／企業対策課

196 万 5 千円

(市 100%)

60 歳未満の求職者と在職者を対象に、職業訓練法人大曲仙北職業訓練協会が主催する特別教育講座などの受講料を市が全額負担し、技術習得を支援します。



4 月に開設した西部新規就農者研修施設(西仙北)

新規

プレミアム付き共通チケット発行事業費

担当課／商工観光課

4,704 万円

(市 100%)

大曲商工会議所と大仙市商工会が地域消費活動の奨励のために発行する総額 5 億 5 千万円のプレミアム付き市内共通利用チケットに対し、プレミアム分(5 千万円)と事務費の一部を補助します。

新規

大仙市観光物産協会負担金

担当課／商工観光課

1,868 万 4 千円

(市 100%)

市の観光資源の活用や観光物産の開発・宣伝などを推進し、観光事業の振興を図ります。

今年 4 月に設立した大仙市観光物産協会への負担金です。

拡充

特産品流通化事業費

担当課／商工観光課

221 万 9 千円

(市 100%)

市の特産品を広くピーアールすることで販路拡大につなげるとともに、食を通じた観光振興と地域経済の活性化を目指す事業です。

【事業概要】

- 「B-1 グランブリ in 豊川」(愛知県)に出場する団体への助成
- 市特産品開発



- 大曲納豆汁
- コンクールの開催(市観光物産協会へ委託)

生活の 基盤が整った まちづくり

- 1 道路の整備
- 2 公共交通の整備
- 3 市街地の整備
- 4 上水道の整備
- 5 下水道等の整備

中通線街路整備事業費

担当課／都市管理課

2億5,941万円

(市41%、国県59%)

JR大曲駅の東西地区を結ぶ重要な環状道路である都市計画道路中通線を整備する事業です。

【事業概要】

事業期間／23年度～27年度

全体事業費／4億3,742万9千円



【写真】23年度から整備が進められている中通線

道路改良事業費

担当課／道路河川課

2億8,387万6千円

(市64%、国県36%)

幹線道路は公共施設や都市機能に対する交通便利性の向上を図り、生活道路は安全性と快適性を確保するため、道路の改良・舗装工事を進めます。

新規

淀川地区簡易水道水源調査事業費

担当課／協和支所農林建設課

928万1千円

(市100%)

協和地域の淀川地区簡易水道の水源地が県環境保全センターの下流域にあるため、新たな水源を確保するための調査などを実施します。

拡充

農業集落排水事業費

(機能保全構想策定事業) 担当課／下水道課

1,990万7千円

(市20%、国県80%)

建設後の年数経過に伴い修繕費用が増加している農業集落排水施設について、適期に予防保全対策を講じ施設の長寿命化を図るため、対象となる17施設のうち、25年度は8カ所の機能診断調査を実施します。

大曲駅前第二地区土地区画整理事業費

担当課／土地区画整理事務所

14億1,846万4千円

(市44%、国県56%)

大曲駅周辺の土地区画整理事業を進め、にぎわいある商店街の形成や宅地利用の増進など中心市街地の再生を図ります。25年度は、中通線の新設・舗装工事のほか、黒瀬踏切の縮小工事などを行います。

【全体事業概要】

施行地区面積／25.7ヘクタール

施工期間／平成27年まで

新規

大沢郷地区簡易水道区域拡張事業費

担当課／西仙北支所農林建設課

189万円

(市100%)

施設の著しい老朽化と、夏場や冬場の渇水時における水量不足で給水能力の低下が心配される西仙北の江原田小規模簡易水道組合と木売沢・金山沢簡易水道組合を廃止し、隣接する公営の大沢郷地区簡易水道より配水管を延長して水道水を供給します。25年は経営認可変更申請業務を実施します。

地域住宅整備事業費

担当課／建築住宅課

372万9千円

(市37%、国県38%、その他25%)

市営住宅の修繕計画を定め、長寿命化による更新コストの削減と整備事業量の平準化を図ります。

25年度は、老朽化が著しい天神前住宅（西仙北）の建て替え準備経費などが盛り込まれています。

拡充

水害対策費

担当課／総合防災課、道路河川課

3,092万7千円

(市100%)

台風や集中豪雨などによる水害の発生に備え、排水施設や排水設備を整備します。

また、県が検討している一級河川・福部内川の河川改修工事に合わせ、大曲福見町地内の水害被害の軽減のための調査などを行います。

【事業概要】

- 常設排水ポンプ2カ所（若竹町大曲中学校裏・大花町昭代橋上流）の設置工事及び1カ所（福田町川福橋上流）の設置工事実施設計
- 可搬式排水ポンプ購入（4台）



【写真】集中豪雨で辺り一面が水浸しの大曲福見町(平成23年6月撮影)

環境と調和し 快適で安全に暮らせる まちづくり

新規

住宅用火災警報器設置 助成事業費

担当課／総合防災課

1,029万9千円

(市100%)

市内全世帯のうち、住宅用火災警報器を取り付けていない一戸建て住宅に住んでいる世帯を対象に、警報器を新規に購入する際に1世帯当たり5,000円を上限として経費の50%を助成します。

なお、非課税世帯で65歳以上のみの世帯等については、全額補助します。

拡充

災害に強いまちづくり事業費

担当課／総合防災課

922万9千円

(市98%、その他2%)

自主防災組織の活動強化を支援する事業です。ヘルメットや担架などの活動に必要な資機材の配備や、購入の助成、市民防災士の育成を目的とした研修会を実施し、市民の防災に対する意識の高揚を図ります。

25年度は、主要な避難所に自家発電機や特設講習電話機を設置し、避難所機能を強化します。

住宅リフォーム支援事業費

担当課／建築住宅課

6,009万円

(市100%)

環境、省エネ、バリアフリー、耐震化のいずれかの目的を主とした住宅の改修工事にかかる経費の一部を補助することで、居住環境の向上と市内住宅産業の活性化、雇用創出を図ります。

拡充

廃棄物減量化対策費

担当課／環境交通安全課

4,153万2千円

(その他100%)

24年度に改定した「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、廃棄物減量化にかかる啓発事業を実施します。

【事業概要】

- シンポジウム「環境にやさしいまちづくり」の開催
- 廃棄物減量化ピーアール標語・キャラクターの募集 など

新規

苺谷沢コミュニティガーデン 整備事業費

担当課／協和支所農林建設課

680万4千円

(市100%)

苺谷沢中央公園(協和)に隣接する未整備の市有地に季節を感じられる木々や草花を植栽し、市民の憩いの場として整備します。市有地の利活用を通じて、世代間交流の促進と地域の生活環境の向上を図ります。

空き家等対策費

担当課／総合防災課

850万2千円

(市65%、その他35%)

市内全域の空き家の状況を管理するシステムを活用し実態を把握します。

また、「大仙市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、必要な措置について助言や指導、または勧告を行い、空き家の適正管理を図ります。

- 1 自然環境の保全
- 2 住宅環境の整備
- 3 公園・緑地の整備
- 4 衛生環境の整備
- 5 公害防止対策の推進
- 6 生活安全、安心確保
- 7 雪対策の強化

拡充

環境学習推進費

担当課／環境交通安全課

103万5千円

(市100%)

子どもたちの環境保全に対する意識を高めるため、民間団体と連携し、小学生や幼児を対象に動植物とのふれあい体験学習や観察会などの環境学習を実施します。

【事業概要】

- ①学習型：節電や省エネに取り組み、暮らしと環境との関わりについて考える(子どもエコチャレンジ、環境家族宣言、ワンデイエコチャレンジ)
- ②イベント型：身近な自然に触れ合い、自然に対する感性や環境を大切に思う心を育む(親子環境学習)

新規

公共施設再生可能エネルギー等 導入事業費

担当課／環境交通安全課

2億2,469万5千円

(市13%、その他87%)

災害時の避難所としての機能向上と災害に強く環境負荷の小さい地域づくりを目指し、西仙北ぬくもり温泉ユメリアに太陽光発電システムや温泉の排熱を利用したヒートポンプなどを設置します。また、大曲南中学校と南外中学校に太陽光発電システムなどを導入します。

【事業概要】

導入設備／【西仙北ぬくもり温泉ユメリア】太陽光発電設備11kW、蓄電池15kWh、廃熱利用ヒートポンプ101kW【大曲南中学校(屋上設置)・南外中学校(地上設置)】太陽光発電設備15kW、蓄電池16kWh

1 行政運営の効率化 2 市民との協働 計画の推進にあたって

新規

自治基本条例策定関連経費

担当課／総合政策課

36万2千円

(市 100%)

市における自治の基本理念や行政運営の基本原則を明確にし、これらを市民と行政が共有することにより、市民との協働によるまちづくりを推進します。

【事業概要】

- 条例策定に向けた庁内検討会議や策定委員会の設置
- 有識者による研修会等の開催

町内集落会館整備事業費

担当課／総合政策課

1,315万円

(市 100%)

自治会館の新築・増改修・補修や浄化槽設置にあたり、自治会が負担する工事費の一部を補助・貸し付けします。集落会館の設置・維持を支援することで、施設を利用して行われる自治会活動など、地域の活性化を図ります。

荒川鉱山跡地保存活用事業費

担当課／協和支所市民サービス課

27万1千円

(市 100%)

協和地域の荒川鉱山跡地を市の貴重な産業遺産として保存・伝承するとともに、地域活性化に向け活用を図ります。

25年度は、24年度に策定した「荒川鉱山跡地歴史保存活用構想」に基づき、個別事業実施計画の作成と文化財指定などに向けた調査を実施します。

仲間とふれあい ともに活躍できる まちづくり

- 1 地域情報化の推進
- 2 男女共同参画社会の形成
- 3 地域間交流の促進
- 4 国際交流の促進

新規

コミュニティ FM 開局準備経費

担当課／総合政策課

40万3千円

(市 100%)

27年8月をめどに地域の活性化と防災対策などを目的にコミュニティ FM の開局を検討しています。

25年度は、開局に向けた事業計画の策定や東北総合通信局との事業協議などを実施します。

地域振興事業費（地域枠）

担当課／総合政策課

5,500万円

(市 100%)

市民と行政との協働のまちづくりを推進するため導入している、市独自の予算制度です。地域の課題や問題を解決するための活動を支援します。

【配当額】

大曲地域／1,000万円
その他地域／500万円＋1,000万円を7地域で人口割配分

小規模・高齢化集落コミュニティ対策事業費

担当課／総合政策課

235万6千円

(市 100%)

人口減少や少子高齢化などで集落のコミュニティ機能が急速に失われつつあることから、小規模集落・高齢化集落のコミュニティ機能の再生と維持・活性化につながる支援策を検討し、実現を目指します。

自治会育成支援事業費補助金

担当課／総合政策課

2,301万円

(市 100%)

市内自治会の組織化と住民主体による地域づくり活動、自主運営している自治会館などの維持管理経費の一部を補助します。

【補助対象の数】

- 自治活動および地域づくり活動／518自治会
- 自治会館維持管理費／385会館

新規

大仙市 PR イベント開催事業費

担当課／総合政策課

838万円

(市 100%)

秋田デスティネーションキャンペーンや国民文化祭の開催を控え、秋田への注目が高まりつつあります。この機会を捉え、各地域の首都圏ふるさと会の協力を得ながら、大仙市の地場産品や特産品の販売、地域文化の紹介などをピーアールするイベントを首都圏で開催し、観光誘客や経済分野での取り引き機会の創出を図ります。



【写真】地域枠予算を活用して行われた「四ツ屋まつり」には、大勢の地域住民が参加



〔写真〕①着々と進んでいる市街地再開発事業の仙北組合総合病院の移転改築工事（関連記事17ページ）②東日本大震災をきっかけに高まりを見せる市民の防災意識。防災訓練や講習会への参加を通じて地域の連帯感を深めている（4月14日・神岡地域ビュータウン嶽町内会のAED講習会・関連記事19ページ）③求職者と在職者に技術習得の機会を提供するスキルアップ事業（関連記事17ページ）④夏休み期間中に行われた親子環境学習では子どもたちが山や川での生き物の採取を通じて自然保護の大切さを学んだ（24年7月31日・関連記事19ページ）⑤集落支援員の支援を受けながら集落維持のため地域の魅力を発掘しようとする取り組みが始まっている（協和地域徳滝集落の座談会・関連記事21ページ）⑥国際教養大学の留学生やALTが参加した太田東小学校の収穫感謝祭。学校行事を通じて外国人との交流を楽しんだ（関連記事21ページ）

公債事務費

担当課／財政課

303万6千円

（市100%）

大曲通町地区市街地再開発事業として実施している仙北組合総合病院の改築支援事業の財源を確保するため、「だいせん夢未来債（住民参加型市場公募債）」を発行します。債券の購入を通じて市民のまちづくりへの参画を図ります。

【事業概要】

発行総額／5億円

利率／5年利付国債の利回りを上回る利率（発行日約2カ月前に決定）

購入限度額／1人（1法人・1団体）あたり500万円まで

発行日／25年11月下旬（予定）

ふるさと納税文庫整備事業費

（ふるさと応援基金分）担当課／総合政策課

500万円

（その他100%）

市内の認定子ども園や幼稚園・保育所にふるさと納税文庫を整備するほか、小・中学校でもふるさと納税文庫コーナーの充実を図ります。

国際教養大学交流事業費

担当課／男女共同参画・交流推進課

67万円

（市100%）

国際教養大学と提携している「国際交流に関する連携プログラム」に基づき、市内の子どもたちと同大学の留学生との交流を推進します。

がんばる集落活性化支援事業費

担当課／総合政策課

1,002万2千円

（市100%）

自治組織が自ら行う維持・活性化のための模範的な取り組みに対して補助金を交付します。

【補助の対象】

- ①小規模集落・地区振興モデル支援（小規模集落などが継続的に実施予定の新たな取り組みなどの準備費用）
- ②地区ビジョン策定支援（複数の集落で構成される広域的な自治組織などを対象に、地域の将来像を実現するためのビジョンの策定などにかかる経費）
- ③集落支援員導入集落活動支援（集落支援員導入集落の活動にかかる調査・検討費用や事業費用）

平成 25 年度の主なゼロ予算事業

	事業名	内容
1	大仙市さくらマップ (総合政策課)	市内に生息する桜の保全に対する意識を高めるため、市職員や市民から提供された情報をもとに桜の自生地や開花状況をまとめ、ホームページ上で紹介します。
2	男女共同参画出前講座 (男女共同参画・交流推進課)	市内の各種団体を対象に、それぞれの要望に合わせた出前講座を行います。 ＜講座の例＞高齢者大学の受講生を対象にした孫育て講座、高校生を対象にしたデートDV予防教育講座 など
3	大仙市ホストファミリー 拡大事業 (男女共同参画・交流推進課)	友好交流都市の韓国・唐津市との交流や韓国北ソウル連盟から派遣される「青少年受入事業」などをスムーズに行うため、すでに登録しているホストファミリーから市民向けの講話をしていただき、ホストファミリー登録者の拡大を図ります。
4	多文化（韓国）理解講座 (男女共同参画・交流推進課、生涯学習課)	友好交流都市の韓国・唐津市や韓国北ソウル連盟からの派遣で来県する韓国の方との交流を深めるため、国際交流員を講師に地域ごとに韓国文化を理解するための出前講座を実施します。
5	こくほ出前講座 (国保年金課)	市内の各種団体の要望に応じて集会所や事業所に国保担当職員が出張し、国民健康保険の加入・脱退手続き、ジェネリック医薬品などに関する説明会を実施します。
6	若者就職応援講座 (企業対策課)	若年未就職者を対象とした講座を行います。ハローワーク大曲やフレッシュワーク AKITA から講師を迎えるほか、地元企業からも事業の概要と求めている人材について講話していただく予定です。
7	はなだて優遊学 (生涯学習課花館公民館)	花館地区在住のさまざまな知識や特技を持つ住民を講師に、市民の学びの場を設けます。
8	三上洋子絵画（遺作品） 展示 (生涯学習課角間川公民館)	角間川まちづくりの会が保有する三上洋子さん（あきたびじょんポスターモデル）の絵画をまちづくりの会との協働で10月12日から18日までの一週間展示します。
9	協和地域文化財案内講座 (生涯学習課協和公民館)	仙人大学郷土研究部や県文化財保護協会協和支部などのボランティアの協力のもと、協和地域の文化財を学ぶ機会を設け、観光客などに施設案内ができる人材を育成します。
10	豪雪時職員除排雪応援 事業 (総合防災課・道路河川課)	豪雪時に、市職員が現地に出向き、市内の人通りが多い道路や交差点の除排雪作業を行います。

【コラム3】

知恵と工夫で 新サービスを提供 ゼロ予算事業

COLUMN

ゼロ予算事業は、新たな予算措置を伴うことなく、職員一人一人の積極的な創意工夫や新しい発想のもと、技術・知識、資産、情報等の最大限の活用や市民との協働・連携など多様な手法を用いることによって、市民サービスの一層の充実を図る試みです。そのため、通常業務から一歩前に出る取り組みと考えています。

ゼロ予算事業は平成19年度に始まり、25年度は32件の実施を予定しています。事業計画作成にあたり、ゼロ予算事業がもつ本来の趣旨を確認することを目的として、次の3つの基準を定めた上で、精査・立案を行いました。

- ①予算措置を伴わない事業であること
- ②市民に向けた事業であること
- ③通常業務とは区別できる事業であること

今後も自治体を取り巻く財政状況が厳しさを増すなかであって、価値観の多様化を受けた住民ニーズに対し積極的に応えていくためにも、ゼロ予算事業は必要かつ重要な取り組みとなっています。



市内の若者を対象に企業が求めている人材などについて講話を行う「若者就職応援講座」



「アンニョンハセヨ韓国」異文化理解講座で韓国の伝統衣装「ハンbok」を試着した参加者



市の鳥であるカワセミの観察を通じて地域の自然に親しむ「カワセミ観察会」

【コラム4】

予算を人口数で考える 一人当たりの予算

COLUMN

8ページの目的別歳出を基に、平成25年3月31日現在の住民基本台帳に記載されている人口8万8,219人で「市民一人当たりの予算額」を算出しました。

高齢者や障がいのある方、児童等への福祉に使われる「民生費」が最も多く、道路整備や市街地再開発などの「土木費」、環境保全や疾病予防、健康増進の経費「衛生費」と続きます。

衛生費  6万7,499円	民生費  14万3,521円	総務費  5万6,418円	議会費  3,948円
土木費  8万2,448円	商工費  1万9,112円	農林水産業費  3万613円	労働費  1,977円
その他  642円	公債費  6万5,223円	教育費  4万6,102円	消防費  1万9,822円

収入

家族全員で稼いだ給料 市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源	126万円
ボーナス・諸手当 地方譲与税・地方交付金・国県支出金など	366万円
銀行からの借入れ 市債	59万円

合 計 551万円

支出

食費 人件費	86万円
医療・教育費 扶助費	70万円
ローン返済 公債費	77万円
光熱水費・通信費・日用品の購入など 物件費など	78万円
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など 補助費等	85万円
家の増改築・修繕など 普通建設事業費など	84万円
子どもへの仕送り 繰出金	71万円

合 計 551万円

【コラム5】

市の予算を家計簿に たとえると 家計簿に見る予算

COLUMN

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。

そこで市の予算を年収551万円の家庭に当てはめてみました。
(年収551万円は、総務省統計局・全国消費実態調査「秋田県の1世帯当たり年間収入」である551万円を参考)

市の予算にはいろんな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちょっと違った内容になっています。

例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿に当てはめました。

一つの目安としてご覧ください。

2

連結行政コスト計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

行政コスト計算書は、資産形成を伴わない福祉サービス等にかかる純経常行政コストを表します。

住民一人当たりの状況

人にかかるコスト	127 千円
物にかかるコスト	231 千円
移転支出的なコスト	456 千円
その他のコスト	33 千円

経常行政コスト 847 千円

◆ 連結行政コスト計算書

経常行政コストは756億円に対して、市の連結ベースで実施する事業に対する受益者負担は219億円です。行政コストの多くが受益者負担以外の市民税、地方交付税、国県支出金などで賄われます。

経常行政コスト 756 億円

1. 人にかかるコスト	15.0%
人件費や退職手当等引当金繰入金	114 億円
2. 物にかかるコスト	27.3%
物件費、維持補修費や減価償却費	206 億円
3. 移転支出的なコスト	53.8%
社会保障給付や補助金など	407 億円
4. その他のコスト	3.9%
公債費（支払利息）など	29 億円

特定財源 219 億円

1. 事業に対する受給者負担	29.0%
使用料、手数料や負担金など	122 億円
保険料や事業収入など	97 億円

純経常行政コスト 537 億円

1. 純経常行政コスト	537 億円
不足する部分は、市税や地方交付税などの一般財源や国県補助金などで賄われます。	

4

連結資金収支計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

資金収支計算書は、行政活動の資金の流れを経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支の3つに分け、どのような活動に資金を必要としているかを表します。

◆ 連結資金収支計算書

税収や国県補助金など、経常的収支で生じた資金を他の収支に充てた結果、期末資金残高は70億円となりました。

期首資金残高 65 億円

1. 経常的収支	120 億円
2. 公共資産整備収支	△25 億円
3. 投資・財務的収支	△90 億円

当年度資金増減額 5 億円

期末資金残高 70 億円

3

連結純資産変動計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

純資産変動計算書は、1年間で純資産の各項目がどのような要因で増減したのかを表します。

◆ 連結純資産変動計算書

純資産は、地方税や地方交付税、補助金などの受け入れにより増加したものの、純経常行政コストが減少したため、1年間で22億円減少しました。

期首純資産残高 1,776 億円

1. 純経常行政コスト	△537 億円
2. 財源調達	
地方税	79 億円
地方交付税	218 億円
その他	29 億円
補助金等受入	213 億円
3. その他	△24 億円

期末純資産残高 1,754 億円

注 1. 各表の説明は、連結ベースに係るものです。2. 矢印は財務書類4表の相互関係を表したものです。
3. 用語の説明：「連結」とは、普通会計と特別会計、さらに大仙市と連携・協力して行政サービスを提供している一部事務組合、広域連合、第三セクターなどを含んで、一つの行政サービスの実施主体とみなしたものを言います。

大仙市の連結財務書類

市の財務状況を分かりやすく説明するため、総務省方式改訂モデルによる平成23年度決算に係る連結ベースでの財務書類4表を作成しました。

1

連結貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

貸借対照表は、左側に「資産」、右側には資産を形成した財源を「負債」と「純資産」に分けて対照表示したもので、どのような資産をどのような負担で蓄積してきたかを表しています。

住民一人当たりの状況

平成24年3月31日現在の
住民基本台帳人口: 89,290人

負債	1,397 千円
純資産	1,964 千円
資産	3,361 千円

◆ 連結貸借対照表

3,001億円の資産を保有し、そのうち1,754億円はこれまでの世代の負担で支払い済みであり、残りの1,247億円は将来世代の負担で、今後債務を返済していくことになります。

資産合計 3,001 億円

1. 公共資産 2,865 億円
(将来の世代に引き継ぐ社会資本)

2. 投資等 60 億円

3. 流動資産 76 億円
(うち資金 70 億円)

負債合計 1,247 億円
(将来の世代の負担となる債務)

1. 固定負債 1,147 億円

2. 流動負債 100 億円

純資産 1,754 億円
(これまでの世代の負担)

1. 純資産 1,754 億円

◆ 連結財務書類の指標

(1) 社会資本形成の世代間負担比率

公共資産整備の財源に対する世代間の負担バランスを表した指標で、公共資産に占める純資産合計の割合が高いほど将来世代の負担は少なく、逆に地方債残高の割合が高ければ将来世代の負担が大きいです。(表1)

表2

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
経常収益	232 億円	223 億円	219 億円
経常行政コスト	750 億円	742 億円	756 億円

受益者負担比率

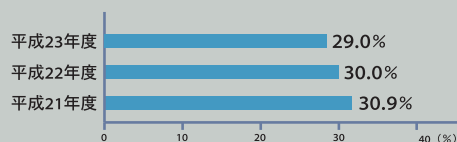
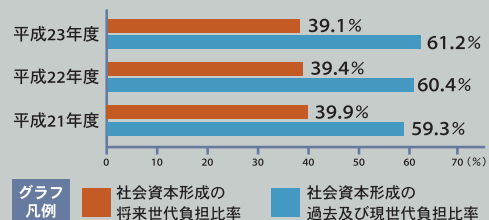


表1

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
公共資産合計	2,956 億円	2,943 億円	2,865 億円
地方債残高	1,181 億円	1,160 億円	1,121 億円
純資産合計	1,752 億円	1,776 億円	1,754 億円

社会資本形成の世代間負担比率



グラフ
凡例

社会資本形成の将来世代負担比率 社会資本形成の過去及び現世代負担比率

(2) 受益者負担比率

経常行政コストに対して受益者負担金(=経常収益)がどの程度の割合かを示した指標で、受益者が負担しない部分については、市税や地方交付税、補助金等で賄うことになります。(表2)

大仙市の財政を類似団体と比較分析しました。

他自治体と比較可能な指標を用いて、各市町村で分析しています。

レーダーチャートの見方は、**緑が類似団体の平均**で、その内側ほど適正度や健全度が低く、外側ほど財政的に適正度が高いことを示しています。

普通会計とは

全国共通ルールに基づいた統計上の会計区分。

※ 大仙市の普通会計は「一般会計」「土地区画整理事業」「学校給食事業」「奨学資金」の3つの特別会計を合わせた会計です。

類似団体とは

人口および産業構造等により全国の市町村を35グループに分類したものです。

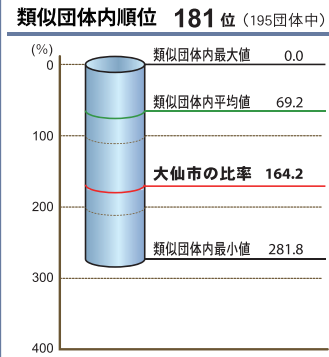
※ 大仙市が分類されたグループには、全国195の市が所属します。

※ 大仙市と同じグループに分類された自治体は、県内では「能代市」と「大館市」です。

大仙市データ

人口／	89,290 人
面積／	866.67km ²
標準財政規模／	31,375,043 千円
歳入総額／	49,611,118 千円
歳出総額／	48,633,267 千円
実質収支／	948,839 千円
(平成 24 年 3 月 31 日現在)	

将来負担の状況

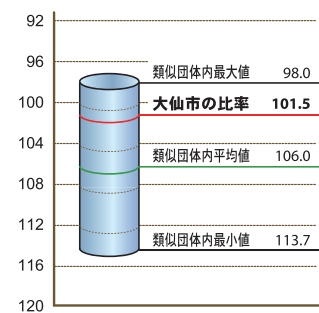


大仙市の将来負担比率

164.2%

給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 14 位 (195 団体内)

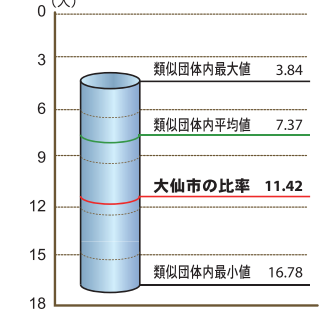


大仙市のラスパイレス指数

101.5

定員管理の状況

類似団体内順位 188 位 (195 団体内)

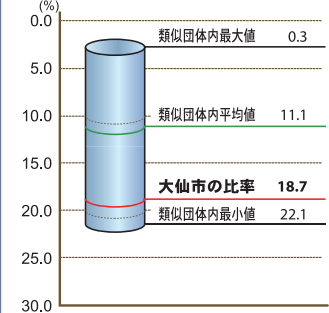


大仙市の人口1,000人当たり職員数

11.42人

公債費負担の状況

類似団体内順位 187 位 (195 団体内)



大仙市の実質公債費比率

18.7%

主な分析結果

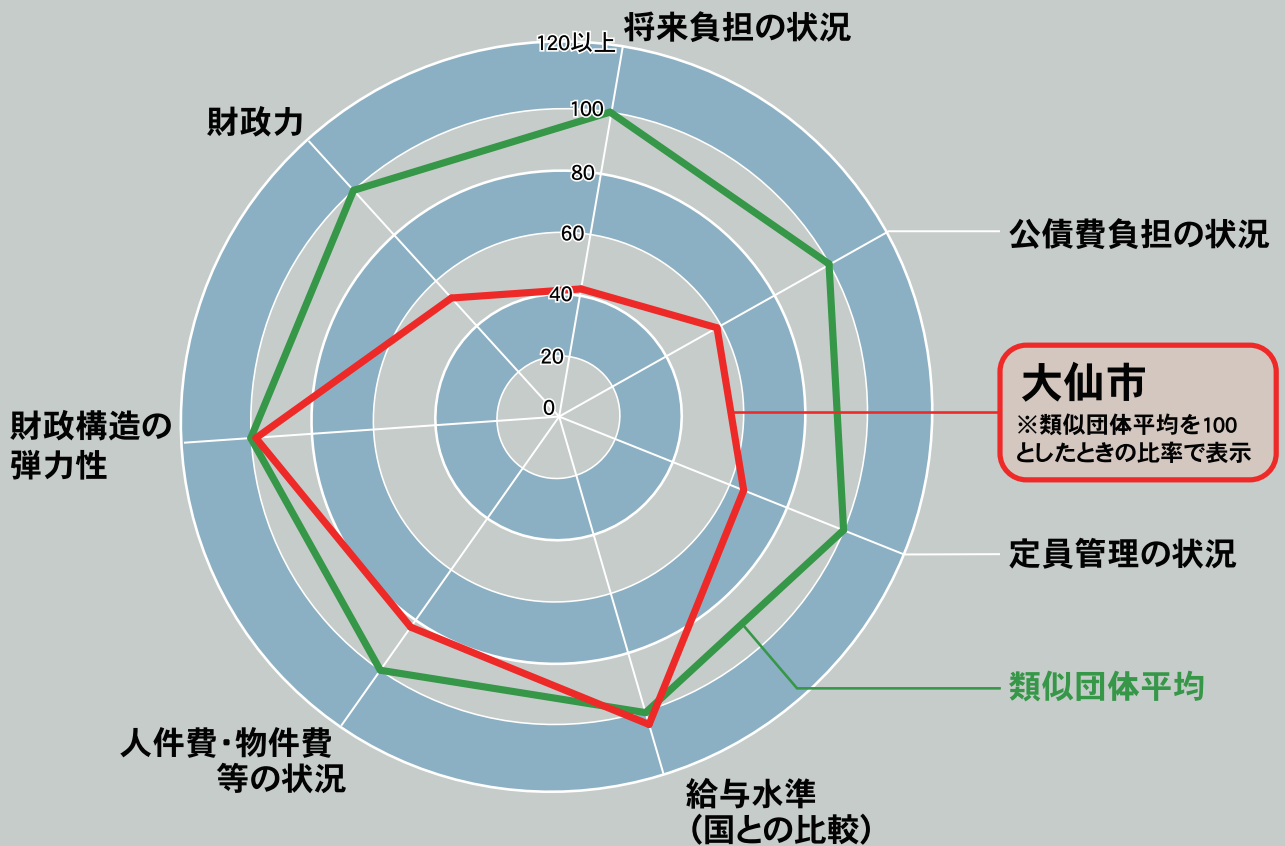
財政力指数の分析量

前年度から0.01ポイント減少しており、類似団体平均を大きく下回る0.34となっています。これは、もともと財政基盤の脆弱な市町村が合併したこと起因するもの。合併後も人口減少や少子高齢化に加え、景気の低迷などによる市税の減収などから、指標を改善できませんでした。今後は歳出構造の抜本的な見直しを図るとともに、市税および各種負担金の徴収率向上など自主財源の確保に一層努めます。

経常収支比率の分析量

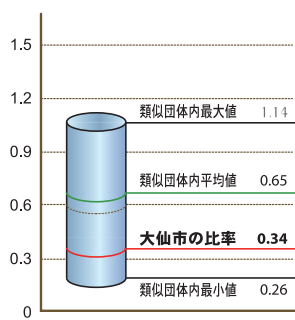
比率は前年度から0.3ポイント上昇し89.4となりました。しかし、類似団体平均と比較すると若干下回っています。経常一般財源は臨時財政対策債の大幅な減少により前年度を4億2567万円下回ったことが比率上昇の主な要因として挙げられます。今後一層の経費節減や自主財源の確保に努めるほか、公債費負担適正化計画を踏まえた市債発行額の抑制による公債費の縮減などで、比率の改善を図ります。

市町村財政比較分析表



財政力

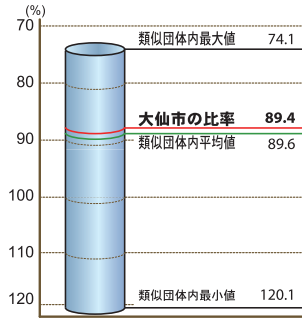
類似団体内順位 183 位 (195団体中)

大仙市の
財政力指数

0.34

財政構造の弾力性

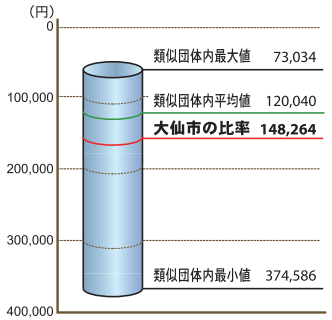
類似団体内順位 89 位 (195団体中)

大仙市の
経常収支比率

89.4%

人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 166 位 (195団体中)

大仙市の
人口1人当たり人件費・
物件費等決算額

148,264円

将来負担比率の分析量

比率は前年度から3・9ポイント改善しました。主要因としては、公債費負担適正化計画に基づく市債発行額の抑制により、市債残高が減少していることや、基金の積み増しによる充当財源の増加が挙げられます。しかし、比率には類似団体平均を大きく上回る164・2%となっており、将来負担の増大による財政の硬化化が懸念されます。今後は市債発行額の抑制を継続するほか、各年度の財政運営において繰上償還を積極的に行うとともに、基金を積み増しするなど、財政の健全化に努めます。

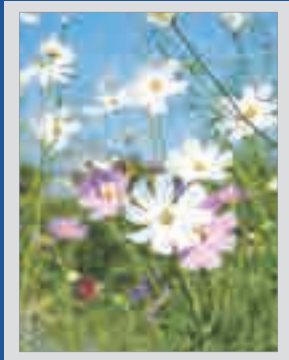
職員数の分析量(人口千人当たり)

人口千人当たりの職員数は前年度から0・48人上昇し11・42人と、類似団体平均を405人上回っており、依然として高い数値です。20年度以降、保育園や老人福祉施設などの法人化が進められ、25年度までに全施設の法人以降が完了する計画です。今後は定員適正化計画に基づき、人口千人あたりの職員数が10人未満となるよう組織改革を進めます。

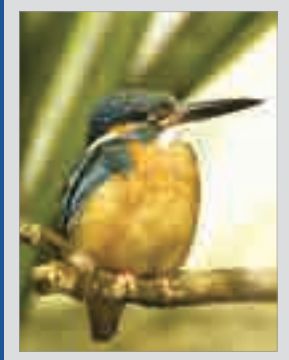
おおきなせなかに

夢を乗せ 未来に^{あす}羽ばたく 元気なまち

市の花鳥木



コスモス



カワセミ



ケヤキ



— 大仙市民憲章 —

わたくしたちのまち大仙市は、豊かな自然と広大な田園に囲まれ、先人のたゆまぬ努力によって栄えてきた歴史あるまちです。

わたくしたちは、この貴重な遺産や自然の恵みに感謝し、市民一人ひとりが誇りと責任を持って、いきいきと暮らせる100年都市をめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 一 自分を高め 心を寄せ合い ぬくもりのあるまちをつくります
- 一 ふるさとを愛し 緑の山河を守り 美しいまちをつくります
- 一 きまりを大切に 力を合わせ みんなで働くまちをつくります
- 一 健康に努め 家族を思いやり 笑顔の輝くまちをつくります
- 一 歴史を見つめ 伝統に学び 文化の花咲くまちをつくります

平成22年3月22日制定

広報だいせん日和 — 予算特別号 2013 —

未来を見つめて 予算で見る だいせんの「いま」と「これから」

—平成25年5月発行

編集発行／大仙市役所 総務部財政課

企画部総合政策課

〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号

☎0187-63-1111 (代表)